

「イスラム国」(IS)の設立の背景と イスラムの「理解」

パリでのテロ事件との関連

国際関係学科 北澤義之

2015・12・23

パリでのテロ事件に寄せて

- テロ/「戦争」/空爆
- 危険: 過度な二分法に陥らないこと
レッテル貼り メディアの役割
- 対応: 多元的な視点を忘れないこと
- 「外国人」: 国民の意味の変容に気づく
「国民」になりきれない
- イスラム: 信徒16億人
cf. キリスト教徒21.7億

中東について

MIDDLE EAST



中東(北アフリカ)地域とは



3億5千万の人口のMENA(中東・北アフリカ)では、過半数が中所得層に属し、青年層・高学歴者を含む。(2014世銀サイトより)

中東の3大言語文化圏: アラブ、トルコ、イラン

有力な宗教: イスラム、キリスト教徒、他の少数宗派(ユダヤ教、アルメニア教など)

1990年までの東地中海諸国の歴史的発展

オスマン帝国による支配(イスラムによる多民族帝国)

アラブ人

トルコ人



西欧の介入(第一次大戦)

英・仏の委任統治体制(アラブ人)

トルコ共和国



アラブ諸国の成立

バース党体制(イラク・シリア)

その他(共和制・王政・首長制)

イスラム教と中東の関係

イスラム教のルーツ＝中東(アラビア半島)？

○ メッカで誕生・拡大

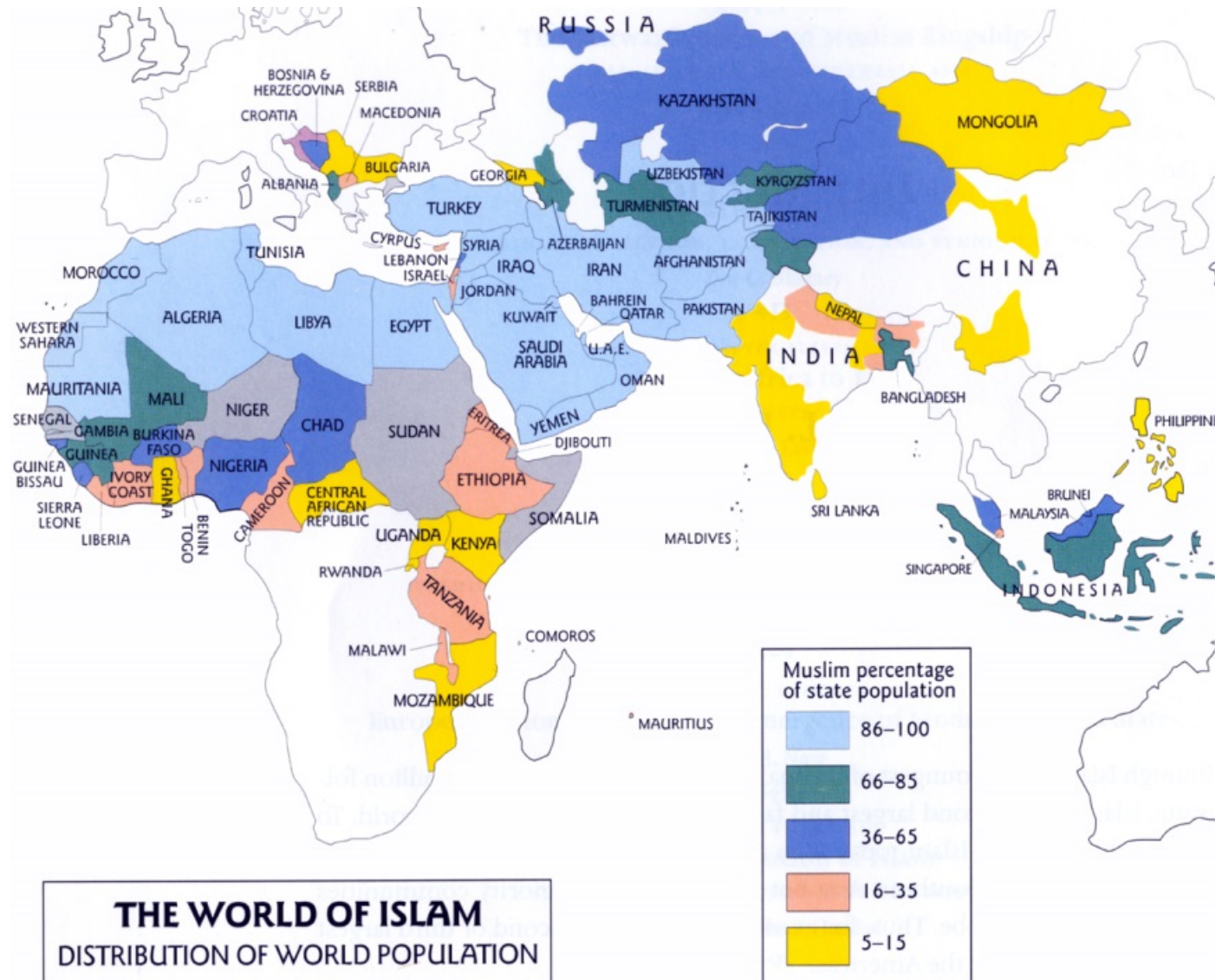
イスラム教＝中東？

× 世界に広がる／中東にも多様な宗教

イスラム教＝特殊な宗教・過激な宗教？

× 現実的・柔軟性もある

世界のイスラム教徒



2014/12/24

ISの「領域」2015年12月

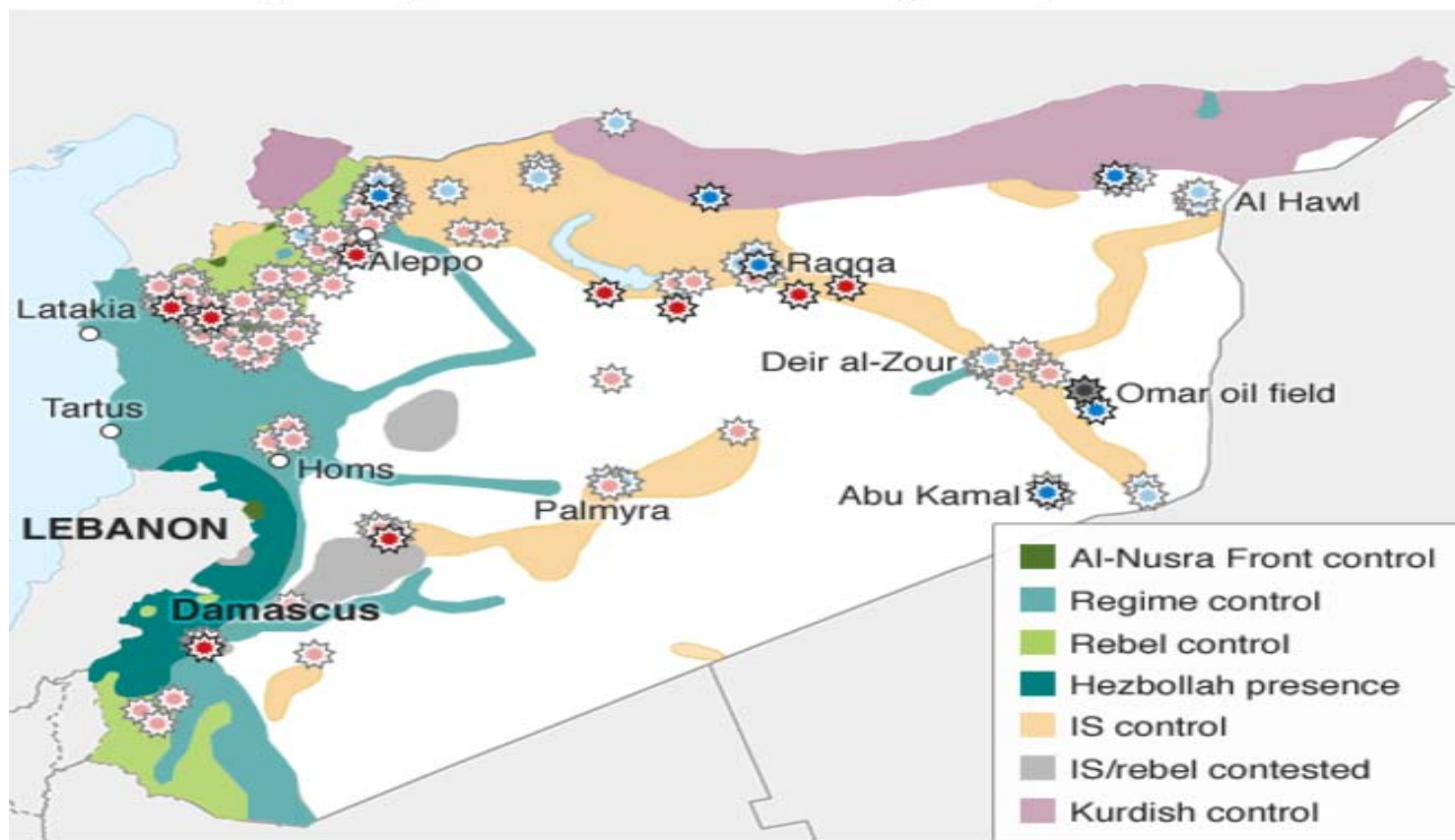
Russian and US-led strikes in Syria

US-led coalition air strikes

- UK
- Other coalition forces
- ☀ 3 Dec
- ☀ 1 - 2 Dec
- ☀ 30 Sep - 30 Nov

Russian air & cruise missile strikes

- ☀ 25 Nov - 29 Nov
- ☀ 30 Sep - 24 Nov



Source: Institute for the Study of War, US military, UK MoD, French Defence Ministry. Locations may have multiple strikes

BBC

IS設立をめぐる動向

- 2003/5/1 ブッシュ大統領、イラク戦争終結宣言。
- 2005/1/30 第一回総選挙(スンニー派ボイコット)
- 2011/12/18 米軍イラク撤退完了
- 2012/12/23 スンニー派地域(特にアンバル)でマーリキー首相退陣を求める大規模な抵抗
- 2013/4/23 イラク北部でイラク治安部隊と反政府武装勢力の衝突により一週間で240人死亡
- 2013/8/10 ラマダン(断食月)明けにISによる攻撃で70人死亡。
- 2014/1/24 イラク北部ファルージャやラマディをアルカーイダ系の武装組織が制圧。
- 2014/6/10 ISがイラク北部ニネヴェ州全体と州都モースルを制圧、南下。
- 2014/8/8 イラク北部で米軍がISに対する爆撃開始
- 2014/8/14 マーリキー・イラク首相辞任
- 2014/9/10 オバマ大統領, ISへの「巻き返し」宣言
- 2014/9/23 米機(ヨルダン, サウジ, カタル, UAE, バハレーン参加)によるシリア領内ISIS拠点爆撃
- 2014/10/2 トルコ議会, IS攻撃のため外国軍の領域通過承認, シリアへの軍派遣承認
- 2014/10/24 IS, イラク軍に対し化学兵器使用か
- 2014/11/8 バグダーディ死亡説

ISとは何か

- イラク・シリア国境周辺地域を支配
- 武装イスラム急進派組織(ジハード主義)
支配地域住民に改宗または納税を要求
反対派の殺害
- 主な敵: イラク政府(マールキー政権) = 「反イスラム勢力」⇒一般の「反イスラム勢力」
- カリフ国の体裁: 徴税を含む国家運営

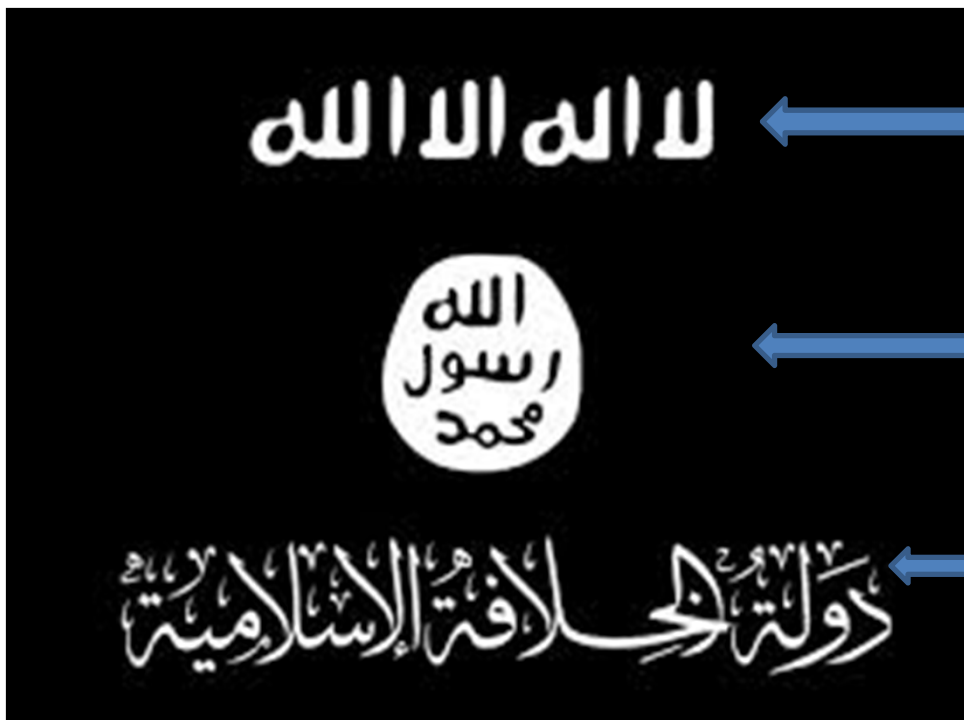
スライド 10

y1

8月14日マリーキー辞任 9月8日ハイダル・アルアバーディーが新首相に。

yoki56jp, 2015/12/21

ISの旗



← アッラーのほかに神なし

← アッラー
使徒
ムハンマド

← イスラム・カリフ国

アッラー

- al = (the) + illah (god) = the god
- 唯一性 (一神教の特徴)
ユダヤ教
キリスト教
イスラム教

預言者ムハンマド

- アッラーから教えを預かる: 最重要人物
cf. 預言者モーゼ、キリストなど
- 社会改革(当時のメッカ=商業社会)
- 政治指導者に(聖遷後メディナの市長)

イスラム・カリフ国

- カリフ: ムハンマドの後継者
- 正統カリフ: 632-661年4人のカリフが継ぐ
- ウマイヤ朝・アッバース朝前半(カリフが在位)
以降、実質的には衰退

イスラム史として

- カリフ国の系譜
正統カリフ→ウマイヤ朝→アッバース朝→混乱
オスマン朝崩壊によりカリフ制廃止
- 同胞団運動(ナショナリズムと連動)
1928年以降(一国的, 反帝国主義)
18世紀以降ワッハーブ運動
1979年イラン革命
- ジハード主義(世界のジハード主義者参照)
1990年代以降, イスラム過激派, 脱国境的
アルカーイダ, ISISその他

アブー・バクル・アルバグダーディ



イブラヒーム・アワド・イブラヒーム・アルバドリー・アルサマラーイー(本名)
1971年バグダード北部サマラ生まれ
神学のPHD所持と言われる
イラク戦争中の反乱に参加
2010年「イラクのアルカーイダ」(AQI)の指導者に
軍事指導者として若手の支持を集める
(アルカーイダの指導者アイマン・ザワーヒリーと対照的)
2014年6月ISISで「カリフ」を名乗る
2014年11月8日空爆で死亡説

カリフ: イスラムの預言者ムハンマドの後継者が歴史的に名乗った称号

組織基盤

- 財源(20億ドル相当)「世界で最も裕福なテロ組織」

湾岸諸国支援者からの援助(クウェート・カタール・サウジアラビア)^{k1}

強奪・誘拐・盗掘^{k4}

シリアやイラクの油田地帯・水源の確保^{k5}

スライド 17

- k1 現在は政府の決定により禁止措置がとられ、サウジ経由の援助は停止
kitazawa, 2014/12/23
- k2 クウェートの有力なスンニー派聖職者Hajjaj al-Ajmiがシリア戦線での主要な資金提供者。有力な銀行家でイスラーム主義団体理事のAjeel al-Nashmi.直接のシリアでのテロ行動を示唆したかは別として、ラタキアでのテロを非難はしなかった。2011年から14年10月まで総額2億ドル程度がシリアに流れた(FTS調べ)
kitazawa, 2014/12/23
- k4 ISISの収入の20%(News Week Integrity情報)、今年で2000万\$。ヤジド教徒の人質など。フランス人ジャーナリスト4人は1400万\$との情報。

ティクリートなどの銀行を抑え、15億\$獲得。銀行利用者から10%の「税金」徴収。
シリアのラカアでは、すべての物品に課税。

kitazawa, 2014/12/23
- k5 イラクだけで350の油田確保。現在は300に減少。イラクの生産量一日300万バレル中8万バレル生産。シリアでは油田の生産の60%を獲得。
収入や自己消費用の石油は最低で7万から8万必要。できれば20万バレル必要。
現金収入のためには、原油ではなく石油にする必要。技術者の確保や品質維持のため、移動精製では弱い。
価格は25ドル～60ドルの間。10月半ばで月5～6万バレル生産。
空爆で35%減少。36か月で打撃との試算。さらに早い可能性も。
kitazawa, 2014/12/23

ISへの支持

- 部族勢力の不满
スンニー派部族地域のシーア派主導政府への批判を利用
- SNSなどの媒体の効果的利用
反対勢力の恐怖を掻き立てる映像の利用
- 政府軍側の士気低下
- 「外国人」を含む国際的勢力
イラク人・シリア人以外に他のアラブ諸国、さらに英・仏・独・その他ヨーロッパ諸国、米国、コーカサス地域出身者を含む。(国際的イスラーム過激運動)→アフガン戦争(1979-89)の影響

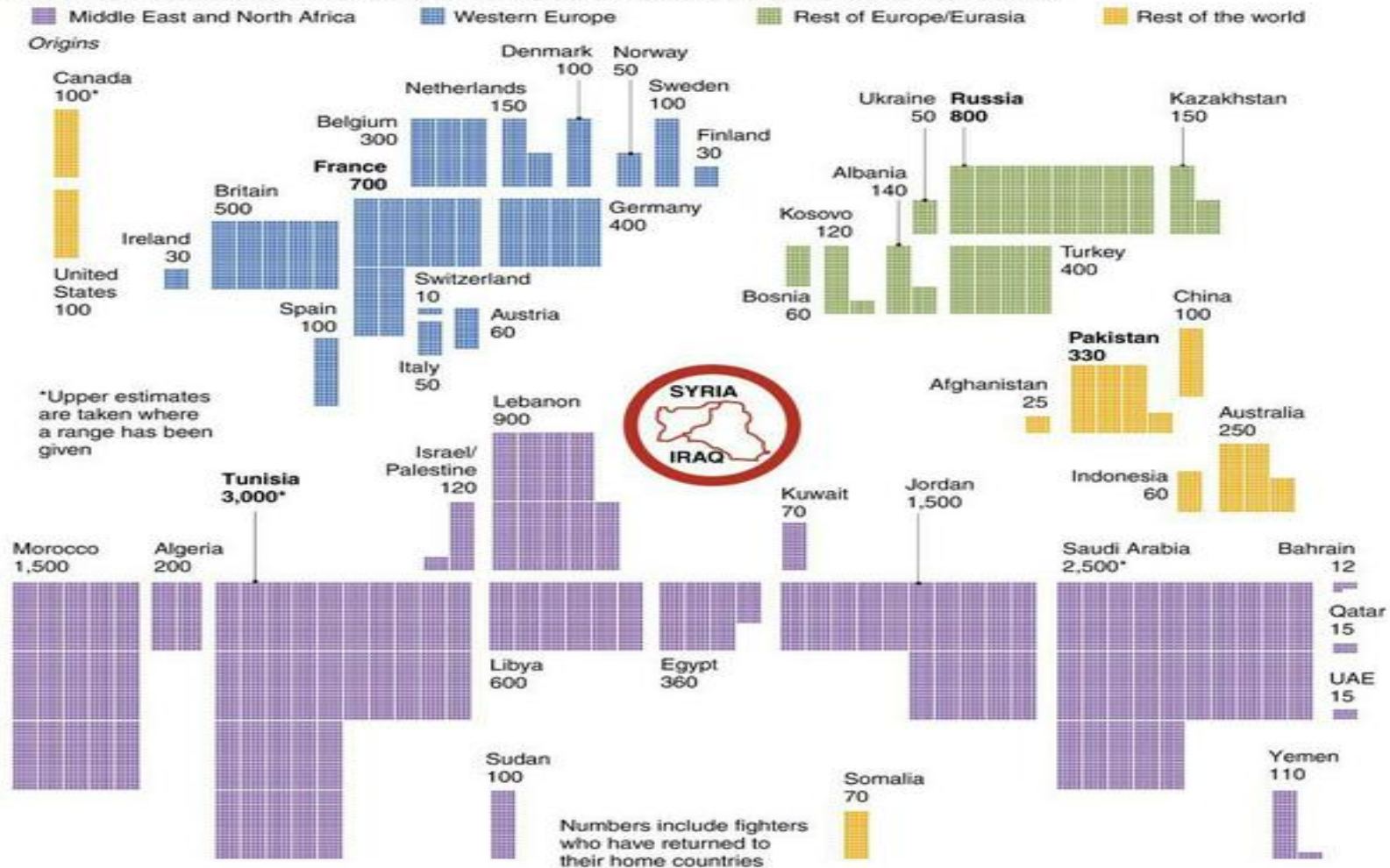
ISの「外国人」

- 「外国人」数 イラク・シリアで戦う「外国人」
2.5万人(2015年7月米ODNI推計)100カ国
一時ISの40%(ただしトルコ経由の入国が難しく
減少傾向, 2014年11月25日Independent紙)
「外国人」に期待される役割(対外宣伝・行動)
- イスラーム不信仰地からの信仰維持のための
移民の意味(ヒジュラ)

「外国人」の出身国

Foreign fighters in Syria and Iraq

Official estimates and analysis from the London-based International Centre for the Study of Radicalisation



Source : ICSR

AFP

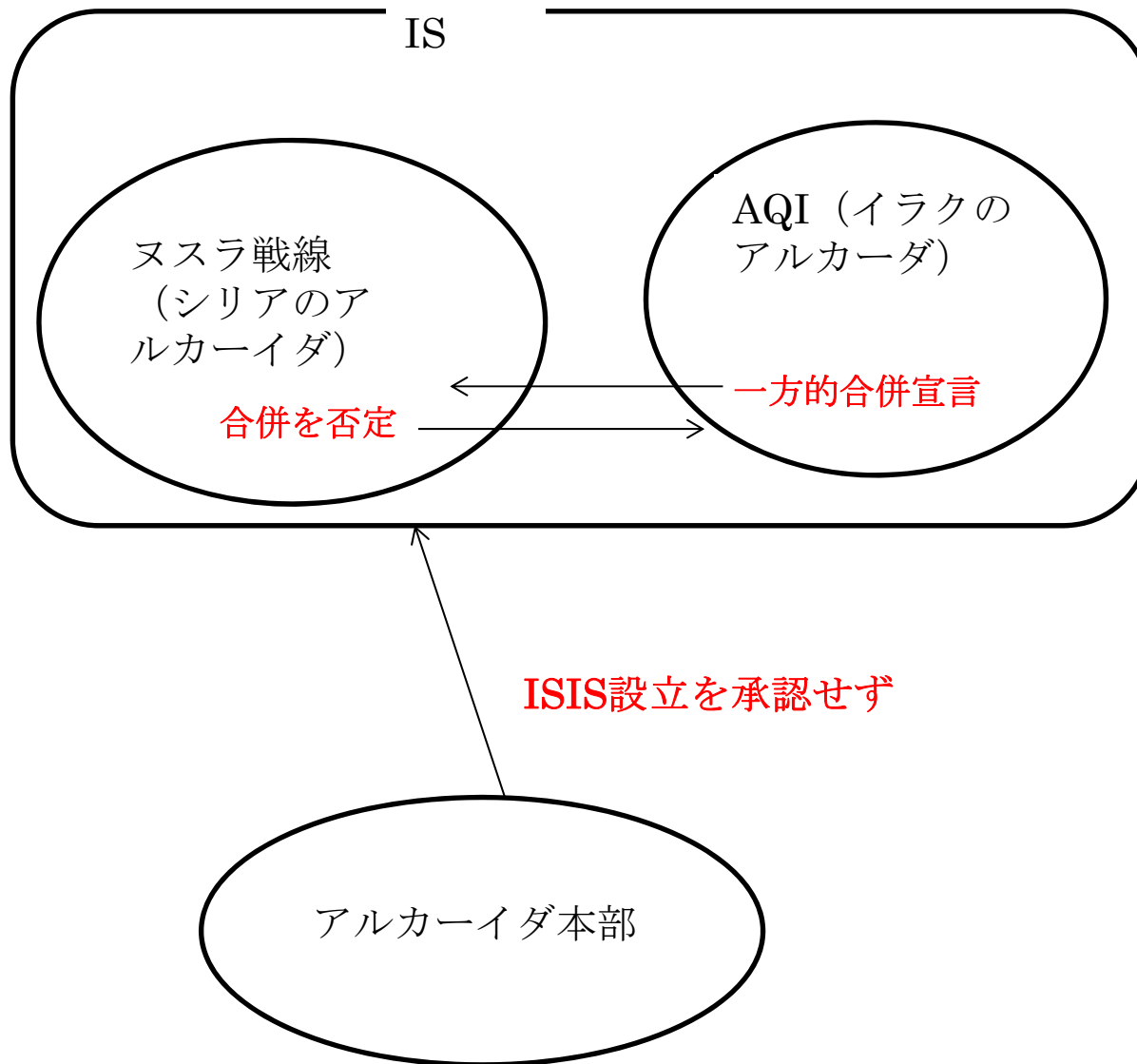
イスラム世界からの反発1

- カタールに事実上の亡命状態にあった有カイスラム法学者、ユーセフ・カラダーウィー師は、「カリフ制の再興はわれわれが皆、待ち望んでいることだ」としつつも、「残虐非道な行為と過激な思想で知られるグループによるカリフ任命は厳密なイスラム法の解釈によれば、まったく無効である」と切り捨てた。
- スンニー派の最高学府エジプトのアズハル機構の法学者は「カリフ制は暴力で再興できない。国を占領し、住民を殺戮(さつりく)するのは、イスラム国家ではなくテロリストの行為だ」と非難した。
- シリア内戦で「イスラム国」の前身、「イラク・レバントのイスラム国」と勢力争いを続けてきた過激派組織や、ヨルダンのアルカーイダ系宗教指導者もそろってカリフ宣言を拒否している。

イスラム世界からの反発2

- もしあなた(バグダーディー)が自分たちをムスリムだと考える15億の人々を認めるのであれば、どのようにしてあなたはあなたの主張するところのカリフ国に関する相談をしないというのはどうしたことなのか。ここで、あなたには二つの結論が可能である。一つは彼ら(15億の人々)はムスリムであり、彼らはあなたをカリフに任命していないということであり、その場合あなたはカリフではない。もう一つの結論は、あなたが彼ら(15億の人々)がムスリムであると認めないことであり、その場合ムスリムはカリフを必要としない小さな集団に過ぎなくなる。いずれにしても「カリフ」という言葉がどうして必要になるのだろうか。実際には、カリフ国はムスリム諸国、イスラム学者の組織、地球上のムスリムの合意によって出現すべきなのだ。

IS設立承認をめぐる内部対立(一枚岩ではない急進派)




イスラム急進派の国際化の背景

- イラン・イスラム革命(1979)

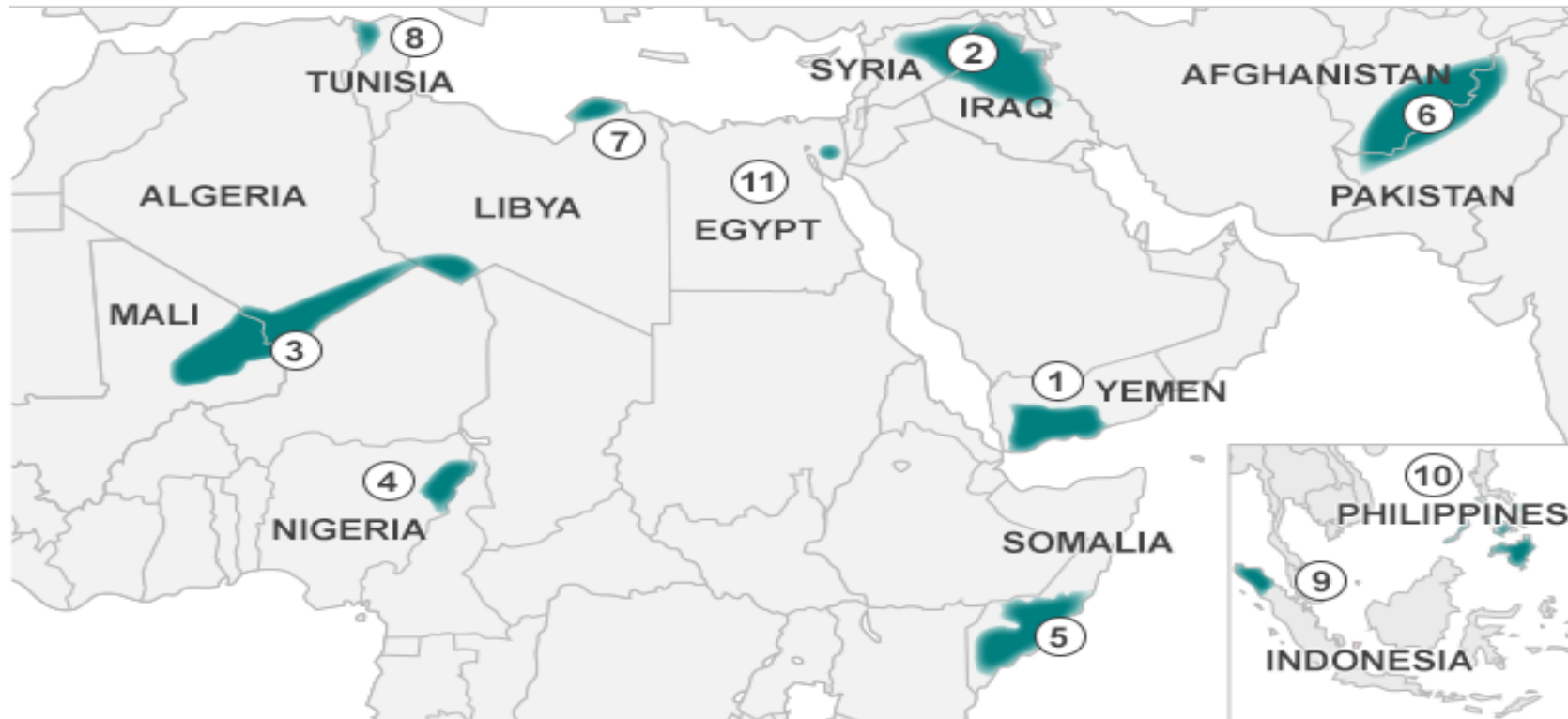
国際政治におけるイスラムの実体化
一国中心

- アフガン戦争(1979-89)

反共産主義運動への支持→国際的フェダ
イン活動支援(イスラムによる解放への期待、
資金、軍事訓練、越境・脱国家的行動)→「アフ
ガン帰還兵」の帰国→新たな闘争の場所の模
索  国際的イスラム解放のイメージ形成
cfアルカーイダの登場

世界のジハード主義者

Where are the main jihadist groups based?



1 Al-Qaeda in the Arabian Peninsula (AQAP)
2 Islamic State in Iraq and the Levant (ISIS)
3 Al-Qaeda in the Islamic Maghreb (AQIM)

4 Boko Haram
5 Al-Shabab
6 Taliban
7 Ansar al-Sharia in Libya
8 Ansar al-Sharia in Tunisia

9 Jemaah Islamiah
10 Abu Sayyaf
11 Ansar Bayt Al-Maqdis

Source: Institute for the Study of War, Global Security, Stratfor Global Intelligence, ICCT, BBC experts

イラクの体制と反体制派

イラク政府

シーア派

クルド

スンニー派(除バース勢力)

反政府

イスラム勢力(含「外国人」)

部族勢力(主にスンニー派)

旧バース党・旧軍

シリアの権力構造

- 政府(バース党政権)
- 反政府勢力
 - 世俗・リベラル派
 - イスラム(シリア中心)
 - 急進派(国境にとらわれない国際派)

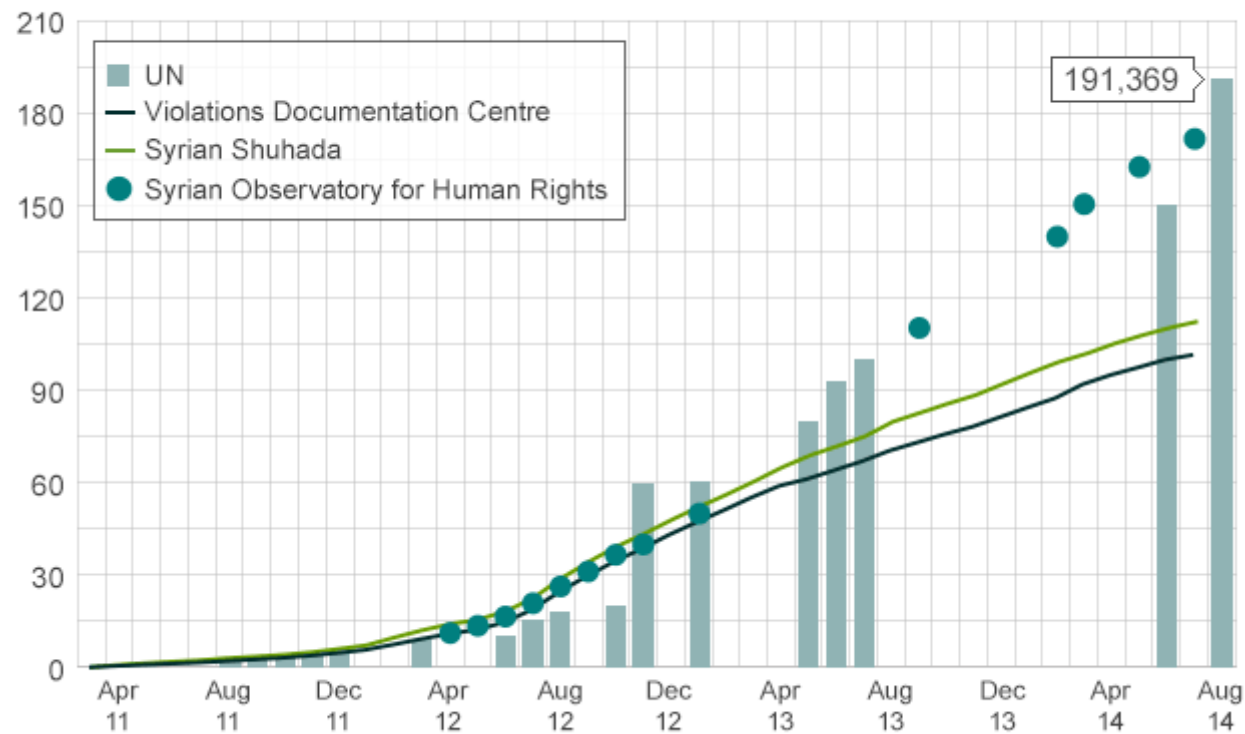
シリア情勢

- シリアの外相は、米国に対しISとの戦いで米国を支援する提案。
- シリア内戦の犠牲者220,000（2015年1月時点、国連報告）
- 市民の犠牲者の32%はシリア軍およびロシア軍の攻撃による。（Syrian death tollより）

シリア内戦の犠牲者

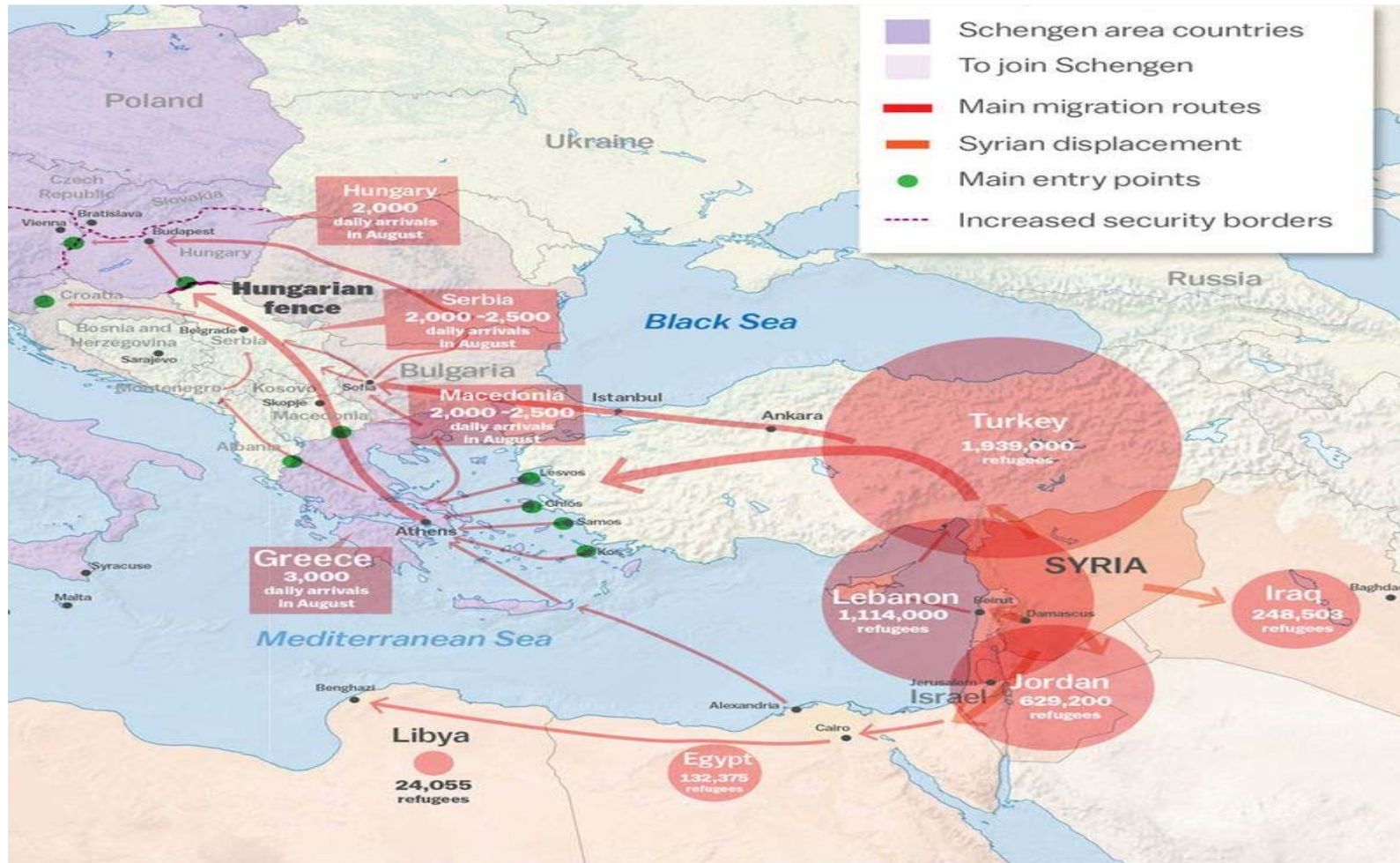
Syrian death toll

Thousands



Note: Figures are cumulative

シリア難民問題



Syrian Refugees
4,087,139 people

Syrian Internally Displaced People
7,632,500 people

12.2 million people in need of humanitarian assistance inside Syria

SOURCE: European Commission, Reuters, BBC

Vox

周辺国の状況

- レバノン
 - ヨルダン
 - エジプト
 - イラン
 - トルコ
 - イスラエル
- 直接的影響の大きい国(難民流入)
- 域内アラブ大国として
- 域内大国としての関与
- シリアを空爆か?

国際社会の関与

- 米国の動向

限定的軍事攻撃

オバマ政権の事情（中東からの戦略的撤退）

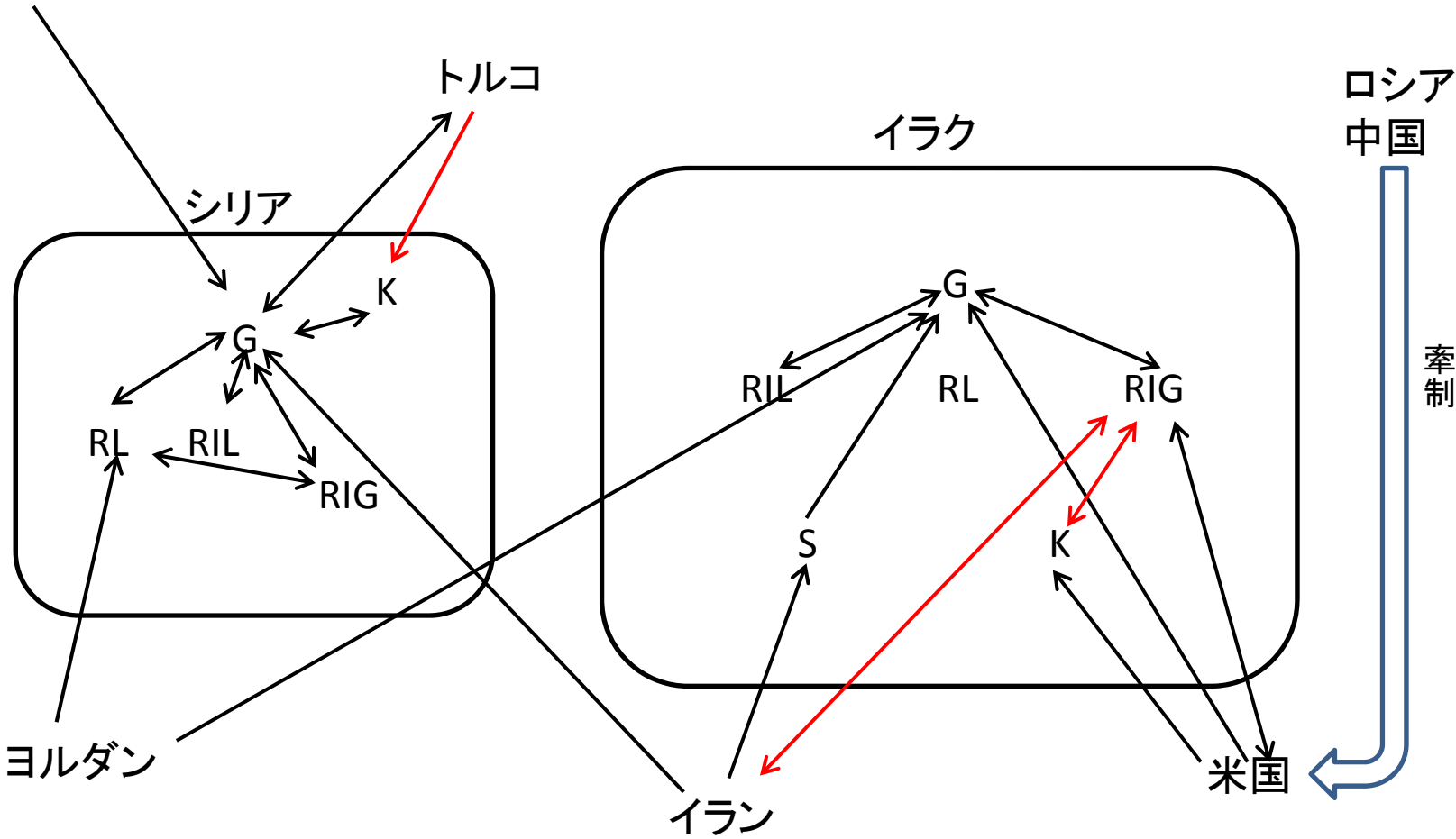
- ロシア・中国の動向

ロシア・中国のシリア支持

ロシア軍の空爆開始（2015）

イラク・シリアと国際情勢(複雑化する対立・協力関係)

レバノン(ヒズブッラー)



反体制派(リベラル)RL
 反体制派(イスラム国内派)RIL
 反体制派(イスラム国際派)RIG
 政府G

→ 支持
 ← 対立
 S シーア派
 K クルド

HDIによる比較

国名	HDIランキング
イスラエル	18
カタール	32
サウジアラビア	39
UAE	41
バハレーン	45
クウェート	48
オマーン	52
レバノン	67
イラン	69
トルコ	72
ヨルダン	80
アルジェリア	83
リビア	94
チュニジア	96
エジプト	108
パレスチナ	113
イラク	121
モロッコ	126
シリア	134
イエメン	160
スーダン	161

軍事支出（GDPに対する割合）

	世界のランク	%
オマーン	2	8.61
サウジアラビア	3	7.98
イスラエル	4	5.69
UAE	5	5.5
ヨルダン	8	4.65
アルジェリア	9	4.48
レバノン	12	4.04
イエメン	13	4.02
モロッコ	17	3.55
バハレーン	21	3.14
イラク	26	2.88
トルコ	37	2.31
エジプト	53	1.72
チュニジア	61	1.55

CIA World Factbook2014

想定される日本のセキュリティ問題

- 中東その他の海外
企業施設(アルジェリアのケース)
個人(ジャーナリストのケース)
国際的調停活動(イラクでの経験)
- 国内
直接的な危険は少ない
ただし、ネット上での勧誘などは避けられない